

「学力の三要素」と入学者選抜における「評価方法」との関係

◎：特に強く関連している

○：強く関連している

△：関連している

入試種別		評価方法	知識・技能	思考力・ 判断力・表現力	主体性を持って 多様な人々と 協働して学ぶ態度
総合型選抜	I期	書類審査	○	◎	○
	II期	面接	△	◎	◎
	III期	調査書	○		△
学校推薦型選抜	指定校制 公募制 卒業生子女 併設校特別	小論文 (指定校制除く)	○	◎	
		面接	△	◎	◎
		推薦書・調査書	○		△
特別選抜	社会人 海外帰国子女	小論文	○	◎	
		面接	△	◎	◎
		書類審査	○		△
一般選抜	全学統一方式 共通テスト利用	筆記試験	◎		
		調査書	△		
	2月日程 3月日程	筆記試験	◎	○	
		調査書	△		

本学科のアドミッション・ポリシーに合致した学生を受け入れるために、以下に示す選抜方法を実施する。

◆総合型選抜

- ・面接（グループ面接）と書類審査（志望理由書）により、「思考力・判断力・表現力」を中心に、「知識・技能」、「主体的に協働する態度」について評価する。

◆学校推薦型選抜

- ・面接と小論文により「知識・技能」、「主体的に協働する態度」を評価するが、小論文では特に「思考力・判断力・表現力」を評価する。指定校制は、小論文を実施しない。

◆特別選抜

- ・面接と小論文により「知識・技能」、「主体的に協働する態度」を評価するが、小論文では特に「思考力・判断力・表現力」を評価する。

◆一般選抜

- ・筆記試験と一部調査書によって、主に「知識・技能」を評価し、記述式問題により「思考力・判断力・表現力」を評価する。